

令和3年5月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

特 記 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,574	61,088	61,000	60,955	88	133
2 調定水量	m ³	661,147	1,295,985	1,297,400	1,303,996	△ 1,415	△ 8,011
3 調定料金(税抜)	円	176,916,270	347,717,782	350,000,000	350,955,453	△ 2,282,218	△ 3,237,671
4 口振加入件数	件	25,187	50,280	—	50,167	—	113

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,552	37,225	36,640	36,605	585	620
6 調定水量	m ³	395,780	784,538	778,100	783,843	6,438	695
7 調定料金(税抜)	円	62,686,928	124,366,367	122,637,000	123,893,977	1,729,367	472,390

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,618	—	77,445	△ 827
9 給水件数	件	30,327	—	30,360	△ 33
10 開栓処理件数	件	203	778	743	35
11 閉栓処理件数	件	319	625	532	93
12 給水工事設計審査	件	39	96	151	△ 55
13 給水工事竣工検査	件	72	143	148	△ 5
14 経年メーター交換	件	268	568	851	△ 283
15 メーター口径変更	件	4	9	7	2
16 督促状発送数	件	1,334	2,690	2,774	△ 84
17 月末停止件数	件	104	—	105	△ 1

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	43	75	88	△ 13
19 排水設備工事完了検査	件	25	55	63	△ 8

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	201,695,486円	47.27%	209,517,073円	45.73%
21 過年度分	7,466,325円	95.94%	8,363,444円	95.61%
22 計	209,161,811円	-	217,880,517円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	80,951,799円	40.83%	80,840,755円	40.68%
24 過年度分	3,619,682円	95.23%	4,158,000円	94.59%
25 計	84,571,481円	-	84,998,755円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	0円	-	0円	-
27 過年度分	2,590,700円	2.94%	3,199,700円	3.11%
28 計	2,590,700円	-	3,199,700円	-

1. 5月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は194,608千円(税込)で、前月期に比べて6,726千円の増、対前年同月比では6,673千円の減となり、営業収益は195,080千円、営業外収益は事務手数料4,947千円を含む5,821千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や動力費など78,739千円、特別損失は233千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金594千円を執行しました。支出は、職員給与費などを含む事務費として2,640千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は68,956千円(税込)で、前月期に比べて1,108千円の増、対前年同月比では1,419千円の減となっています。営業収益は68,802千円、営業外収益は負担金1,539千円などを含む1,639千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など72,539千円、特別損失は過年度還付として241千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。

支出は、職員給与費などを含む事務費として2,976千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 令和2年度決算の概要について

令和2年度水道事業会計及び下水道事業会計決算を調製し、5月20日付けで市長へ提出しました。なお、概要は次のとおりです。

①水道事業会計

令和2年度の業務量は、配水量9,223千m³、有収水量7,834千m³で配水量に対する有収水量の率(有収率)は84.9%で、前年度比0.2ポイントの増となりました。

収益的収支(税抜)は、経常収益が24億5,137万円でその86.2%を占める給水収益は、石越駅前地区が栗原市より編入になったことや新型コロナウイルスの影響により水量が増加したため、前年度比では2,886万円の増額となりました。経常費用は24億2,064万円で、委託料や減価償却費が増加した等により前年比1,855万円の増となり、当年度純利益は3,321万円となりました。

②下水道事業会計

令和2年度の業務量は、水洗化世帯数は18,795件で、前年度比373件の増となりました。

収益的収支(税抜)は、経常収益が37億8,947万円で下水道使用料が7億4,250万円であり、予算に対し2,817万円の増となっています。その他の収入は他会計補助金が16億1,048万円、長期前受金戻入が14億387万円となりました。

経常費用は37億60万円で企業債の支払利息や減価償却費等の資本費の74.8%を占めています。令和2年度より地方公営企業法を適用したことにより、退職給付引当金の計上が義務化されているため、特別損失を1億6,100万円計上し、当年度純損失は6,594万円となりました。

(2) 市民参加の新たな森林づくりについて

市民参加の新たな森林づくりが5月23日(日)に津山町横山地内で実施されました。当日は、市民の参加者等約70名が参加しました。上下水道部からは職員2名と業務受託者2名、給水車1台の参加で、植樹の後、給水車の水を提供しました。

令和3年5月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	841,281	1,654,935	1,581,610	1,619,294	73,325	35,641
総配水量	789,368	1,553,265	1,472,640	1,513,937	80,625	39,328
1 有効水量	710,122	1,389,578	1,393,400	1,406,888	△ 3,822	△ 17,310
(1) 有収水量	665,576	1,304,845	1,300,800	1,312,819	4,045	△ 7,974
(2) 無収水量	44,546	84,733	92,600	94,069	△ 7,867	△ 9,336
2 無効水量	79,246	163,687	79,240	107,049	84,447	56,638
(1) 漏水量	78,572	162,963	78,000	106,785	84,963	56,178
(2) その他無効水量	674	724	1,240	264	△ 516	460
3 有収率	84.32%	84.01%	88.33%	86.72%	-4.32%	-2.71%

※ 当月期の最大配水量は、11日（火）に記録した【27,148m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	0	0	0	0	20,460	0.0%
浄水施設整備事業	6	57,420	0	0	0	0	57,420	0.0%
配給水施設整備事業	54	1,163,640	2	23,021	0	5,488	1,135,131	2.4%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 登米市内で震度5弱の地震が発生

令和3年5月1日（土）午前10時27分頃、宮城県沖を震源とするマグニチュード6.8、震度5弱の地震が発生しました。

参集した水道施設課職員と受託者は、直ちに水道施設、基幹管路をそれぞれ巡視し状況確認を行いました。その結果、幸い施設の異常や管路の漏水はありませんでした。

水道施設課では今後も、地震や災害に強い施設や耐震管への更新を計画的に進めてまいります。



【施設巡視へ向かう準備を急ぐ受託者】

2 下り松取水塔ポンプピット内の清掃作業を実施

令和3年5月16日（日）下り松取水塔ポンプピット内の清掃を行いました。

取水ポンプにより集められた流木や堆砂などを取り除く作業を実施しました。

作業中は取水を停止しており、時間に制限のあるなか、迅速かつ丁寧な作業を行い、約4時間で終了しました。

この作業は今後も取水に支障が出ないよう、計画的に年3回行う予定です。



【取水ポンプに上り作業している様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	12	15.770
付属施設	0	0.000	
給水装置	8	7.906	
計	20	23.676	

【漏水調査結果：5月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約156,267円/日当たり

算定：R2年度給水原価 275.01円
累計漏水量 23.676m³/h
23.676m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

（単位：m³）

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	286,144	554,126	521,920	32,206		1処理場
特定環境保全公共下水道	56,863	110,447	110,605	△ 159		3処理場
米谷・錦織処理区	12,338	23,993	25,149	△ 1,156		
豊里処理区	32,003	62,219	60,076	2,143		
津山処理区	12,522	24,235	25,380	△ 1,146		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	12,352	25,612	29,041	△ 3,429		
農業集落排水	121,848	235,935	228,708	7,227		24処理場
迫地区	10,303	19,555	18,026	1,529		
東和地区	3,338	6,529	6,254	275		
中田地区	33,185	64,239	62,164	2,075		
豊里地区	2,107	4,071	4,288	△ 217		
米山地区	52,380	101,045	100,833	212		
南方地区	20,535	40,496	37,143	3,353		R3.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	42,806	83,757	82,215	1,542		1,934基
合計	520,012	1,009,877	972,489	37,388		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

（単位：件・千円）

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	554,183	0	1,006	0	2,559	550,618	0.6%
ポンプ施設整備事業	1	15,000	0	0	0	0	15,000	0.0%
処理施設整備事業	88	415,939	10	10,998	0	2,784	402,157	3.3%

※件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。

特記事項

1 下水道処理水の水質検査の実施

5月7～14日までに毎年実施している水質検査を公共下水道処理場4か所、農業集落排水処理場24か所及び石越処理区合流箇所4か所において、実施しました。

この検査は、各処理場等の処理した水などを採取し、水質基準を満たしているか確認するものです。検査の結果、28処理施設の処理した水は全て基準値以内であることを確認しました。



【佐沼環境浄化センター一試料採取状況】

○浄化槽整備事業受付状況

（5月末現在）

予定件数	受付件数	残件数
80	32	48

2 浄化槽整備推進事業の実施状況

浄化槽設置工事は申請の受付から工事完了まで、約4カ月の期間が必要となります。現在の実施状況については、4月期の申請受付分の17件のうち10件が契約済みとなっており、5月期は15件の申請を受理し、工事発注に向けての手続きを行っています。